



なないろだより



調布なないろ保育園9月園だより

令和6年9月2日(月)
調布なないろ保育園
園長 山口三奈



行事への思い

朝夕の風に、秋の気配を少し感じるようになりましたが、日中はまだ痛みを感じるような陽射しが強く、残暑もいつまで続くのかと、毎朝環境省が発表する「暑さ指数」とにらめっこしながら思います。

そんな中でも、こどもたちにとっての「夏」が充実するように、朝の気温が上がる前から縁庭に出て遊んだり、テラスが日陰になるたんぼ組やちゅーりっぷ組で水遊びを楽しんだりしながら、季節を感じて過ごしてきました。外に出にくい分、どうしても室内遊びが増えるので、職員が他の保育園に見学に行き、自分達の保育環境を俯瞰して見直し、活かす事があるかなど検討している最中です。

こども達はその傍らで、7月に催した「夏まつりの会」から、先生達の演じたプリキュアに憧れ、火が付いたちゅーりっぷ組のこども達のプリキュア軍団を筆頭に、今では2歳児クラスの小さな子達も、おねえさんや、おとなと一緒に衣装を作り、踊りを教わって嬉しそうにしています。行事を終えても遊びが続き、楽しむ様子は、一つの行事の経験から派生して、異年齢で関わり合いながら充実していく豊かさを、こども達の姿から教えられます。保育園の中に、たくさんの「知り合い」が増えてきています。

さて、大きな催しを「行事」として考えてみた時、来月10月には幼児クラスを中心とした「運動会」を開催します。4年前、ちょうどコロナに突入寸前の秋でしたが、そのころの運動会は「1歳児以上のクラス発表型」で、おとなが見る分には愛らしいこどもの姿も、こどもの立場からすると普段と違う非日常的な雰囲気、顔がこわばったり、緊張してしまったりして本領発揮できない子もやはりいて、子ども達の必要な経験として考えてきた運動会のねらいが、若干逸れてしまっていることに気づき始めた頃でした。コロナ禍に入り、「運動会」自体も紆余曲折、会のネーミングや、そもそも「こどもにとって必要価値のある運動会とは!？」という視点に、翻弄と軌道修正を試みての本年度の開催です。

さらに次年度は、縁庭の改築を4年ぶりにまたもや計画しているので、運動会を含めた行事の在り方も、お父さんお母さんのご意見も伺いながらアップデートしていきたいと思っています。ぜひおつかフェや普段の中でもご意見をくださいね。

保育園で暮らすこども達の一日いちにちに彩りがあって、これからもずっと良い日が続きますように。



みんなで泊りできたよ!



- 1歳になります 1人
- 2歳になります 2人
- 3歳になります 2人
- 4歳になります 4人
- 5歳になります 2人
- 6歳になります 2人



- 【9月】 2日(月) 引渡し訓練・BCP訓練
- 3日(火) ~ 13日(金) おじいちゃんとおばあちゃんと遊ぼうデー
- 5日(木) 健康診断(0歳児)
- 7日(土) 縁庭開放
- 9日(月) SV観察
- 10日(火) お茶指導(5歳児)
- 13日・27日(金) 太鼓・よさこい指導(4・5歳児)
- 17日(火) おつかカレーの日
- 18日(水) ちょうふの里(3歳児)
- 19日(木) 誕生会
- 25日(水) 素話の会(おはなしカメさん)(4・5歳児)
- 26日(木) わくわく♪異年齢交流(幼児)/おつかカフェ

- 【10月】 1日(火) 調布なないろ保育園開園記念日
- 3日(木) 運動会予行練習(1回目) / 健康診断(全員)
- 4日・11日(金) 太鼓・エイサー指導(4・5歳児)
- 7日(月) SV観察
- 8日(火) お茶指導
- 9日(水) 運動会予行(2回目)
- 15日(火) 歯科検診
- 17日(木) 運動会予行(予備日)
- 19日(土) 運動会(幼児)
- ※19日が雨天の場合、20日(日)に延期
- 21日(月) お話会(カランコエの花かご)(3歳児)
- 22日(火) ちょうふの里交流(1歳児)
- 24日(木) 誕生会 / おつかカフェ
- 26日(土) 縁庭開放
- 29日(火) わくわく♪異年齢交流(幼児)



- 8月末日で園医の桑野医師が退任され、9月から『国領こどもクリニック』の高藤哲医師に代わります。毎月第1木曜日が健診日になります。
- 9月9日(月)~24日(月) 吉祥寺双葉栄養専門学校(2年生)1名が、実習に入ります。

つぼみぐみ

ずり這いやハイハイ、つかまり立ち、歩くなどそれぞれ発達が異なる子ども達。この夏は遊びの中で思いきり身体を動かすことを保育士と一緒に楽しみました！気温が高く、暑かった毎日でしたが、室内や廊下に斜面台や巧技台、カラーマットでお山を作ったりして、運動遊びを楽しみました！ずり這いができるようになってきた子は、はじめは1歩次の日は2歩と少しずつ、進めるようになりました。今では、好きなおもちゃや好きな保育士の元まで、腕と足の力を使ってずんずん移動するように！！歩行ができるようになった子は、階段登りも4階まですんなり行ってしまうほどに。毎日の積み重ねで子どもたちもこんなに成長するのだと担任一同びっくりした夏でした！

すみれぐみ

他のクラスの子たちとの関わりがたくさんあった夏でした。新しい環境にも慣れ、乳児クラスで行き来する機会が増え、たんぽぽ組の子の遊びに魅了されてじーっと様子を眺めていたり、まねしてやってみようとしたり♪つぼみ組の子を指さして「なに？」と名前を聞いてみたり、周囲を見て大切にしている存在だと感じているのでしょう。小さいながらにお世話しようとする姿も☀️きっと、さくら組やひまわり組の子たちがお世話もかねて遊びに来てくれることから繋がっているのだろうと微笑ましく思っています😊

秋には部屋の行き来だけでなく、さくらんぼリズムと一緒に楽しむ時間も増えるので、更に関わりも深くなっていくといいなと思っています。

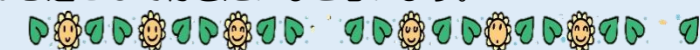


たんぽぽぐみ

この夏は、感触遊びを存分に楽しみました。初めは、昨年も楽しんでいた小麦粉粘土からスタート。スライム、寒天、氷と様々な感触を楽しみました。その中で、色や形、硬さの違いや変化に気が付く子もいました。小麦粉粘土に赤の食紅を入れると「あれ～ピンクだ！」。初めてスライムに触れた時には「うわー」と眉間にしわをよせて少し抵抗がある子もいました。

感触遊びが苦手な子も繰り返し遊んだり、友達の遊ぶ姿を見て興味を示したり、少しずつですが楽しめるようになったと思います。

今では、プリキュアやウルトラマンになりきって踊ったり戦ったりと小集団の遊びへと変化してきています。異年齢での交流も楽しみながら過ごして行きたいなと思っています。



ちゅーりっぷぐみ

この夏は製作活動をよく楽しみました。いろいろな表現の方法を知ってほしいなという思いから、染め紙やアルミホイルを使ったにじみ絵、氷の絵の具など様々な製作を楽しんできました。手が汚れることが嫌な子もいましたが、作っているうちにすてきな模様が浮かび上がって、もう一回！と色や濃さを変えながらじっくりと楽しむ姿が印象的でした。

また、プリキュアごっこが盛り上がり、衣装や小道具を作る中で、子ども達が作りたい物をイメージをしてそれを画用紙や廃材などを使って形にする経験をしてきました。友達のすてきなアイデアを「どうやってやるの？」と教えてもらったり、ちゅーりっぷ組のプリキュアに憧れた年下の子に衣装を作ってあげたりと、人間関係も広がったなと感じます。

夏以降も好きな遊びをたくさん楽しんでいきたいです！

ひまわりぐみ

暑さが本格的になる少し前、ひまわり組の子ども達は近所の畑の跡地で一匹のカエルと出会いました。生き物に興味があることも然ることながら、愛嬌いっぱいのカエルを部屋で飼うにはどうしたらよいかと自分たちで調べたり、餌の為に小さい昆虫を捕まえたりしているうちに、どんどん愛着が増していきました。ですが、いつまでもこうして部屋で飼うことがカエルにとってはどうなのかと子ども達と考えることに。初めのうちは可愛いカエルを手放したくない意見がほとんどでしたが、カエルを自分事として捉えてみると、早くお家に帰ってパパやママに会いたいよね、お家に帰してあげようよという気持ちに変わっていきました。小さなカエルの命を通して、命の大切さや当事者の気持ちになってみるということを知ったこの夏。心がまた一つ大きく成長しました。

さくらぐみ

この夏、さくら組の中で大切な行事「お泊まり保育」では、お化け屋敷をする！という大きな目標に向かって、クラスみんなで作り上げていきました。なかなか意見が纏まらなかったり、作りたい物もバラバラだったり…大人もどうしよう…と思うことも。でも、どんな時もクラスの誰かが良い意見をくれたり、素敵なお化け屋敷を作ってくれたり♪ピンチも乗り越え、みんなの力でお化け屋敷をすることができました！そして、ドキドキのお泊まりも、みんなと一緒に乗り越えました。「みんなで一つの目標に向かう」このクラスでは、初めての経験だったかもしれません。

そんなお泊まり保育を終え、さくら組の子達は今、自信がついた表情に変わってきています😊

9月

遊びの中の学び

